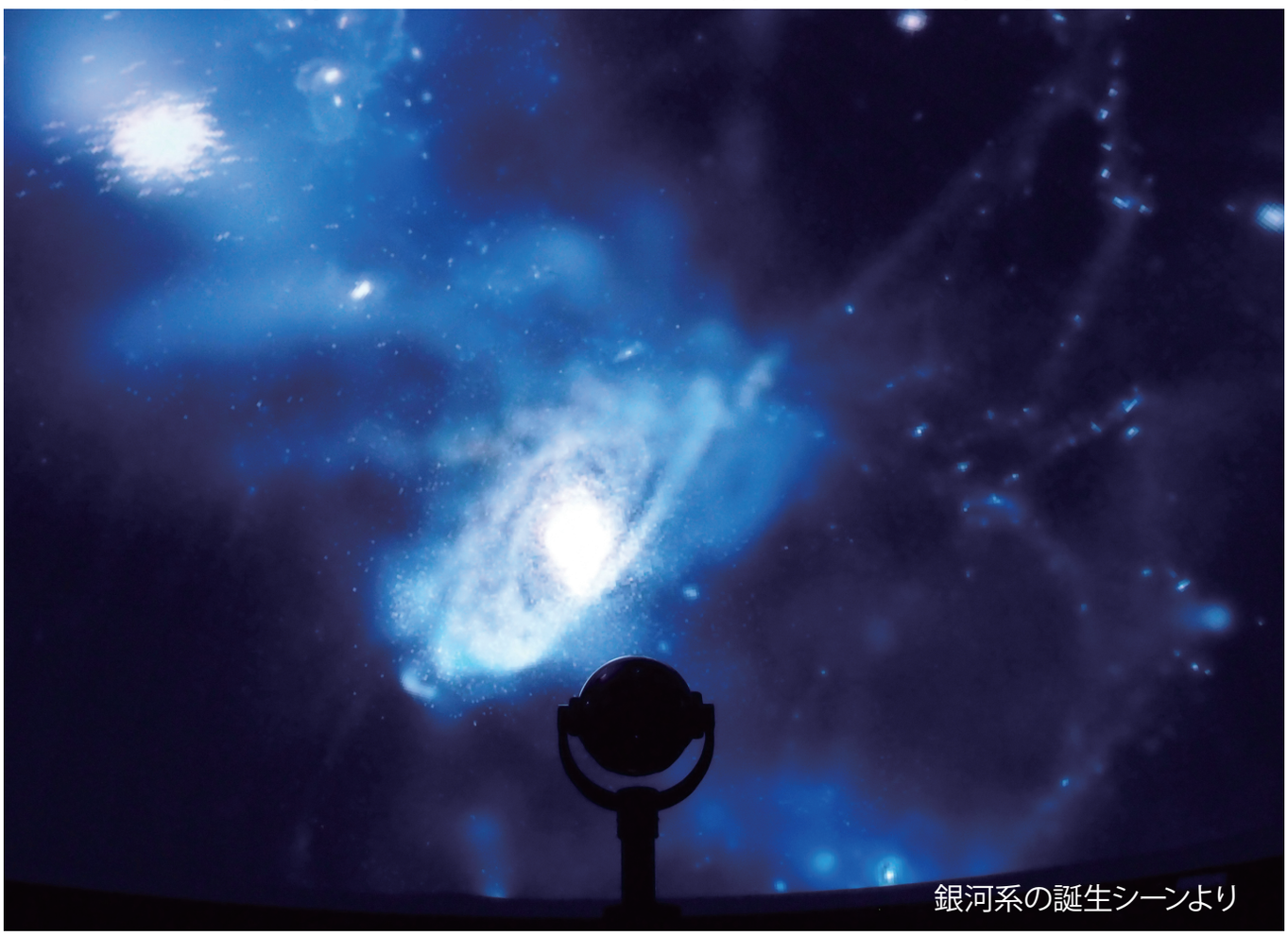
あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM　2013.2 月号

■職業体験学習で来館し試写をチェックした神明中1年生の感想より

「立体的ですごい迫力」「天文学の知識がなくても宇宙のさまざまな星や銀河のことをわかりやすく学べた」



銀河系の誕生シーンより

プラネタリウム Journey to the Stars

2月のプラネタリウムは、3月16日より始まる春期特別展「天の川銀河へようこそ」に連動し、ニューヨークのアメリカ自然史博物館が制作したプラネタリウム番組「ジャーニー・トゥ・スターズ（Journey to the Stars）」をお届けします。

広い宇宙の中で、いったいわたしたちはどのように生まれ、なぜここにいるのか、宇宙の始まりから地球誕生までの歴史を、夜空に見られる天体たちを例に解説して行く内容です。みどころは、ぜいたくに用いられるシミュレーション映像や、大胆な想像を加えた天体たちの立体イメージ。宇宙を飛翔し、天体たちに手が届くような錯覚、そしてダイナミックな宇宙像をお楽しみください。しかも日本語吹き替え版はナレーターが人気アニメ「セーラームーン」や「エヴァンゲリオン」にも出演した三石琴乃さんという豪華さです。

期間：2月2日（土）～5月5日（日）毎週土・日曜11:００、14:００投影開始（春休み中は水・木曜も投影あり）

観覧料：２００円（18歳未満・65歳以上無料）

寄贈品コーナー

やきものの知識　平成 25 年 2 月 1 日（金）～2 月 27 日（水）



考古学の発掘調査では様々な資料が出土しますが、そのなかでも出土量が多い資料が「土器」です。しかし、一口に土器といっても縄文土器や土師器、そして陶磁器などあらゆる「やきもの」を総称しています。

考古学の研究にとってやきものは、過去の人々の暮らしぶりを知る重要な資料です。また、粘土や石を原料としてさまざまな形を作り出すことができるやきものは、それぞれの時代の作者の技術や思いを形にして現代の私たちに伝えてくれる素晴らしい資料なのです。さらに、時代によるやきものの変遷は「土器編年」として研究がすすめられ、考古資料全体の年代を知る「ものさし」として大変貴重な情報になっているのです。

今回の展示では、考古学を楽しむための第一歩として、やきものの基礎知識と考古学に登場するやきものの種類を、実際の資料と比較しながら紹介していきます。

第14回博物館文化祭
ーサークル活動展示・発表ー

1月27日から開催されている第14回博物館文化祭ーサークル活動展示・発表ー、2月には実演と活動報告会が開催されます。どれも参加は自由。各サークルの1年間の活動成果を、ぜひご覧ください。展示は2月11日(祝) までです。



博物館文化祭　準備の様子

活動報告会：2月3日（日）午後1時～5時

サークルの日ごろの活動の成果を発表します。

会場：講堂　　参加：自由

平塚の空襲と戦災を記録する会実演
「空襲体験証言集朗読会」
2月2日（土）
午後1時～午後3時

空襲体験証言集『炎の証言』を朗読します。

場所：1階「相模の家」参加：自由

天体観察会実演
「太陽黒点の観察」
2月3日（日）
午前10時～12時

望遠鏡で太陽を投影して観察します。昼間の星の観察にもチャレンジします（悪天候時中止）。

場所：屋上　　参加：自由

style-3! プラネタリウム・コンサート

今年もプラネタリウム・コンサートに人気ポップインストユニット style-3! がやってきます！
熱いラテン調のものから明るいポップなもの、バラードまであらゆるジャンルを取り入れた型にとらわれない音楽と圧倒されるパフォーマンスで、聴く人の心をつかみます。美しい星空のもとで繰り広げられる style-3! のライブ・パフォーマンス…必見です！



日時：2月22日（金）　(1) 午後2時～　(2) 午後7時～
場所：プラネタリウム室
定員：60人（応募多数時抽選）
申込：往復はがきに応募する人全員の氏名（1枚のはがきで3名まで）、代表者の住所・電話番号、希望する回（どちらか1回のみ）を書いて2月7日（木）必着で申込。
観覧料：500円（18歳未満・65歳以上300円）

ミニ文化祭

繊維植物に触れてみよう

東海大学教養学部自然環境課程藤吉研究室

期間：2013年2月22日（金）～3月29日（金）　場所：2階情報コーナー

現在、衣服に利用されている繊維は、主に綿や化学繊維から出来ています。これらは、大量生産が可能で、安価なことから、江戸時代や明治以降広く使われるようになりました。それらが広く利用されるまでの長い歴史の間、人々（庶民）はどのような繊維を衣服に利用してきたのでしょうか。

私たちは、縄文から江戸時代にかけて主に利用されてきた繊維、特に繊維植物（古代布）に着目し、その種類と現状を調べてみました。展示の調査活動を通じて、実際に今も古代布が作られているカラムシ布・シナ布・クズ布・フジ布の生産地を訪問し、お話を伺ってきました。展示では、これらの古代布の現状や可能性、また繊維の歴史や織物の工程等についてもポスターを用いて紹介いたします。私たちが現地の織物体験で制作したコースター等も展示してあります。



↑カラムシ



↑制作したコースター

また、展示期間中に繊維植物を活用したストラップ作りの実演もありますので、ぜひご参加ください。

東海大学　4年　松林　文

ストラップ作り体験
3月10日（日）、3月17日（日）、3月24日（日）
時間:午後1時～4時（材料がなくなり次第終了）
場所：2階情報展示コーナー前

2月

1	金		古文書講読会	講堂		博物館文化祭
			お囃子研究会	講堂		
2	土	◎	博物館文化祭　戦災を記録する会実演	相模の家	☆	
3	日	◎	博物館文化祭　天体観察会実演	屋上	☆	
		◎	博物館文化祭　発表会	講堂		
4	月	休館日				
5	火					
6	水					
7	木		展示解説ボランティアの会	講堂		
8	金		古文書講読会	講堂		
9	土	○	平塚学講座　野外実習	野外	☆	
10	日		平塚の古代を学ぶ会	講堂	☆	
11	月	祝日開館				
12	火	休館日				寄贈品コーナー「やきものの知識」
13	水					
14	木		石仏を調べる会	特別研究室		
15	金		古文書講読会	講堂		
			お囃子研究会	講堂		
		◎	星を見る会	科学教室		
16	土		古代生活実験室	科学教室		
			地域史研究ゼミ	特別研究室	☆	
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
17	日	◎	ろばたばなし	相模の家		
		○	平塚学講座　実習まとめ	講堂	☆	
			相模川の生い立ちを探る会	科学教室		
18	月	休館日				
19	火		地質調査会	工作室		
20	水		民俗探訪会	特別研究室		
			裏打ちの会	科学教室		
21	木		展示解説ボランティアの会	講堂		
22	金		古文書講読会	講堂		
		○	style-3! プラネタリウム・コンサート	プラネタリウム室		
23	土		星まつりを調べる会	野外		
			お囃子研究会	講堂	☆	
			天体観察会	平塚海岸		
24	日				☆	
25	月	休館日				
26	火					
27	水					
28	木	休館日				

☆：プラネタリウム投影日　○：申込制行事　◎：参加自由　無印：年間会員制

3月

1	金		古文書講読会	講堂		寄贈品コーナー「湘南ベルマーレ応援企画（仮）」
			お囃子研究会	講堂		
2	土				☆	
3	日				☆	
4	月	休館日				
5	火					
6	水					
7	木		展示解説ボランティアの会	講堂		
8	金		古文書講読会	講堂		
9	土				☆	
10	日		平塚の古代を学ぶ会	講堂	☆	
11	月	休館日				
12	火		地質調査会	工作室		
13	水		民俗探訪会	横須賀市		
14	木		石仏を調べる会	特別研究室		
15	金		古文書講読会	講堂		
			お囃子研究会	講堂		
		◎	星を見る会	科学教室		
16	土		古代生活実験室	科学教室		春期特別展「天の川銀河へようこそ」（～5月6日）
			地域史研究ゼミ	特別研究室	☆	
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
			星まつりを調べる会	科学教室		
17	日	◎	ろばたばなし	相模の家	☆	
		○	平塚学講座　最終講義	講堂		
18	月	休館日				
19	火	◎	星を見る会	科学教室		
20	水	祝日会館				
		◎	特別展展示解説	特別展示室		
21	木		展示解説ボランティアの会	講堂		
22	金		古文書講読会	講堂		
23	土		お囃子研究会	講堂		
		◎	プラネタリウム特別投影	プラネタリウム室	☆	
			天体観察会	科学教室		
24	日				☆	
25	月	休館日				
26	火					
27	水				☆	
28	木		石仏を調べる会	特別研究室	☆	
29	金		雑貨団シアトリカル・プラネタリウム	プラネタリウム室		
			お囃子研究会	講堂		
30	土	◎	特別展展示解説	特別展示室	☆	
31	日		相模川の生い立ちを探る会	科学教室	☆	
		◎	特別展関連講演	講堂		

展示・プラネタリウムと行事

＜博物館文化祭＞

会期：1月27日（日）～2月11日（祝）
会場：特別展示室
※詳細は本誌2ページ

＜寄贈品コーナー＞

☆寄贈品コーナー「やきものの知識」

会期：2月27日（水）まで
※詳細は本誌2ページ

＜プラネタリウム＞

☆プラネタリウム番組「ジャーニー・トゥ・スターズ」

※詳細は本誌1ページ

＜申込制の行事＞

○style-3! プラネタリウム・コンサート

※詳細は本誌3ページ

＜自由参加の行事＞

◎ろばたばなし

内容：民家のいろりばたで昔話を語ります。
日時：2月17日（日）　(1)午後1時20分、　(2)午後3時
場所：展示室1階「相模の家」

◎星を見る会「木星と冬の星を見よう」

日時：2月15日（金）午後7時～午後8時30分
場所：科学教室・屋上

2月の休館日：4日、12日、18日、25日、28日

あなたと博物館　40巻11号　通算434号　発行　平塚市博物館　2100
〒254-0041 平塚市浅間町12-41　Tel:0463-33-5111　Fax:0463-31-3949
E-Mail. info07@hirahaku.jp　ホームページ http://www.hirahaku.jp/